

令和7年11月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時	令和7年11月19日（水）9時30分～10時40分
場 所	大井町役場 3階 301会議室
出席委員	夏苅一壽教育長、中條政夫教育長職務代理者、太田吉昭委員、高橋美恵子委員、栗田めぐみ委員
出席職員	矢吹高広教育総務課長、有馬清美生涯学習課長、山本順一指導主事、荻野義信社会教育主事 【書記】草柳孝子教育総務課副課長
欠席委員	なし
欠席職員	なし
傍聴人	なし
会議内容	

- 1 開会 夏苅教育長から開会の宣言をする。
- 2 前会議録の承認 令和7年10月定例会の会議録が承認され、太田委員と栗田委員が会議録に署名する。

3 教育長の報告

- (1) 教育長の報告 資料により夏苅教育長が説明する。
(要旨)

はじめに、幼稚園運動会、学校公開、町文化祭、町表彰式、七歳の祝い、県市町村教育委員会連合会研修会等への出席に対してお礼を述べる。

10月20日の県市町村教育長会連合会総会では、各団体からの令和8年度補助金等要望、県教育委員会への令和8年度予算編成等の要望の他、本会幹事会への委託事項及び役員選出、不祥事防止などの話があった。

10月21日の足柄上地区教育長会では、会議前に泉中学校の綾部校長、文命中学校の小畠校長から来年5月に小田原市民ホールで開催される「県公立中学校長会総会・研究協議会」の概要についての話があった。その後の会議では、働き方改革に係る実施計画の策定、学校環境衛生検査項目の統一化、教育の諸問題について協議した。また、児童生徒指導上の問題や教職員の状況、市町の教育課題等の情報交換を行い、その後の足柄上郡教育長会では県町村教育長会のブロック研究について話し合った。

10月27日の県町村教育長会Aブロック研修会では、元大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子先生による「インクルーシブ教育と子どもの人権」という講演がWebであり、インクルーシブ教育を「子どもの人権」という視点から問い合わせし、力強く語られた。

11月11日の西湘地区教育長協議会の研修会では、立正大学社会福祉学部の山田知代准教授による「事例から学ぶスクール・コンプライアンス」という講演があり、学校事故事案による判例をもとに、学校対応での課題や裁判所の判断などを話された。

11月13日の足柄上地区教育長会では、県公立小中学校管理職組合の相和小学校の野地校長から役職定年後の待遇要望に関する話があり、引き続き、教職員の出勤簿、教職員の働き方改革の推進計画について協議した。また、令和8年度の始業式・入学式の日程の他、児童生徒指導の問題や保護者対応、教職員の状況等の情報交換を行った。その後の足柄上郡教育

長会では、県町村教育長会のブロック研究について話し合った。

11月14日の県市町村教育委員会連合会研修会では、埼玉県戸田市の戸ヶ崎教育長による「令和の日本型学校教育を支える地方教育行政の在り方について」という講演があり、「中等教育審議会など国の教育の動向」「教育委員会制度の活性化に向けて」「戸田市の教育改革」という3点について、様々なデータや資料、実践例をもとに話された。

11月5日は県教育委員会八矢支援部長らが来庁され、県教育委員会の取組や各市町村教育委員会の課題等について意見交換をした。なお、今年度末で完校する大井高等学校に関する話もあり、小田原支援学校大井分教室は各学年2クラス体制で残るとともに、障害者雇用の推進を図るためのサポートオフィスを設置する旨の話があった。

10月30日の校長園長会議では、9月26日の市町教育長会議の内容、今後の国の動向や研究事業などについて話した。情報交換では、児童生徒や教職員のコロナ罹患状況、園学校行事、保護者対応や教職員の状況等の他、不祥事防止などの職員研修やPTA組織の見直しなどが話された。

(2) 各課・給食センターからの報告

①教育総務課関係事業報告

学校給食センター関係事業報告 資料により矢吹教育総務課長が説明する。

②生涯学習課関係事業報告

資料により有馬生涯学習課長が説明する。

【質問・意見なし】

4 議事

(1) 議決事項

○議案第18号 大井町社会教育委員条例の一部を改正する条例について
資料により有馬生涯学習課長が説明する。

(夏苅教育長)

ただいまの説明に関して、質問・意見がありますか。

(中條教育長職務代理者)

現在の13名でも支障なく運営できるということなので結構だと思います。

【他に質問・意見なし 承認される】

(2) 協議事項

○第4次大井町生涯学習推進計画後期基本計画及び後期実施計画の案について
資料により荻野社会教育主事が説明する。

(夏苅教育長)

ただいまの説明に関して、質問・意見がありますか。

(中條教育長職務代理者)

生涯学習推進計画策定委員会に委員長として出席した際、前期の計画に基づいて事業を推進してきた成果や評価を踏まえ、後期の実施計画を作成した旨を事務局および各課

の課長から説明していただきました。皆様からご意見があれば伺いたいと思います。

(夏苅教育長)

パブリックコメントは前回も行ったのですか。

(荻野社会教育主事)

第3次の後期は実施していませんが、第4次の前期は実施しました。

【他に質問・意見なし 承認される】

○第四次大井町子ども読書活動推進計画の案について

資料により荻野社会教育主事が説明する。

(夏苅教育長)

ただいまの説明に関して、質問・意見がありますか。

(中條教育長職務代理者)

大井町図書館とそうわ会館図書室の蔵書総数の中で、児童書や絵本の占める割合は大井町図書館で20%程度、そうわ会館図書室で30%程度になりますが、この割合は適切といえるのですか。

(荻野社会教育主事)

確認したいと思います。

(栗田委員)

学校図書館協議会が出している比率は見たことがあります、公共図書館の比率は見たことがありません。

(夏苅教育長)

2つの公共図書館の特色はそれぞれあるのですか。

(栗田委員)

2つとも開館以来、絵本から児童書に重きを置いているため、このような結果になっているのだと思います。なかには、発刊から何十年経過しているにも関わらず5冊、6冊もあるロングセラーブックやベストセラーブックもあります。

(中條教育長職務代理者)

図書館は比較的に充実しているということですね。

(栗田委員)

読み聞かせをするときに同じ本を同時に使用する場合があるので、数冊ずつ揃っています。

(高橋委員)

社会教育委員として活動しているとき、大井町の図書館は充実しているという話をよく聞きました。また、他町から大井町の図書館に本を借りに来るという話もよく聞きました。図書館内の展示や掲示も充実していると思います。

(太田委員)

小中学校の蔵書冊数が標準を下回っているのは、大井町の図書館が充実しているからですか。

(有馬生涯学習課長)

学校では施設の関係で図書を入れられる冊数に限界があります。また、希望があつても予算の関係で購入できない状況にあります。そのため、大井町の図書館から学校へ定期的に貸し出しなどをして、冊数が少ない部分を補っています。

(夏苅教育長)

3年ほど前に図書の予算を増額させていただき、それ以来、予算は維持している状況です。また、古い本はだいぶ処分しています。さらに、学校司書が配置されたことで、学校図書館も充実してきています。

(夏苅教育長)

「計画の基本的な考え方」の項目にスローガンを掲載する必要があると思います。また、「すべての子どもが本と出会い・・・」ということで、町としての取組などを入れたり、どのようにつなげたりしていくか記載していく必要があると思います。

【他に質問・意見なし 承認される】

5 その他

○認定こども園の整備について

口頭で矢吹教育総務課長が説明する。

【質問・意見なし】

○生涯学習センター利用状況掲示板、予約方法に関する状況説明及び意見交換

○今後の行事等予定について

資料により矢吹教育総務課長が説明する。

(夏苅教育長)

次々回の定例会は令和8年1月22日(木) 9:30開会としたいと思います。

また、次回は12月24日(水) 9:30開会予定としています。

よろしくお願いします。

6 閉会 夏苅教育長から閉会の宣言をする。